

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
保健体育	体育	普通科 農業科学科 海洋科学科 ビジネス科 生活福祉科	1 学年	3 単位	現代高等保健体育 (大修館)	

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な開設に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続的に運動に親しむ態度を養う。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識を理解したり、基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦したりしている。	「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、新たな課題の発見につなげたりすることができるよう、言葉や動作などで即座に表したり、図や文章及び映像等を用いて筋道を立てて伝えたりすることができる。	話を合意形成に貢献しようとしたり、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、様々な違いを超えてスポーツを楽しむことができるよう配慮しようとしたりすることなどに、主体的に取り組もうとしている。
行動観察・技術テスト 理解度テスト など	行動観察 発表評価 など	行動観察 グループ内相互評価 など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4 5	体づくり運動 体育理論 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動では、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言葉で表したり書き出したりしている。 体づくり運動で、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選ぼうとしている。 体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 体育理論では、スポーツの技術、戦術、ルールの変化について、言葉で表したり書き出したりしようとしている。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、必要な情報を比較したり、分析したりして、まとめた考えを説明しようとしている。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、意見を交換したり、自分の考えを発表したりする活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 陸上競技では、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことについて、言葉で表したり書き出したりしている。 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題 	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
		<ul style="list-style-type: none"> や出来映えを伝えている。 陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 			○ ○
6 7	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールでは、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言葉で表したり書き出したりしている。 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができる。 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選択できる。 バレーボールの学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 	○	○ ○	○ ○ ○
9 12	ハンドボール ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ハンドボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ルールや試合方法、審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解している。 作戦や戦術を選ぶ際に、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができるよう説明できる。 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。 ダンスでは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができることを、言葉で表したり書き出したりできる。 提供されたテーマや表現の仕方から、自己やグループの課題に応じた練習方法を選ぼうとしている。 簡単な作品創作などについての話し合いに参加しようとしている。 一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○
1 3	バスケットボール 武道	<ul style="list-style-type: none"> ゴールの枠内にシュートをコントロールできる。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防をしようとしている。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加しようとしている。 武道を学ぶことの意義、礼法や技の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 見取り稽古から練習の成果や改善ポイントを伝え、有効な練習を選択している。 禁止技を用いず、相手の技能の程度や体力に応じて力を加減するなどの危険予測と危険回避をしようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○ ○

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
保健 体育	体育	普通科・農業科学科 海洋科学科・ビジネス科 生活福祉科	2	2	なし	なし

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	自己の体力に応じて自主的に運動をする習慣を養い、心身の健全な発達を促進させるとともに、公正な態度及び相互協力の精神を養う。 合理的な活動によって技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めさせる。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容 単 元 ・ 学 習 項 目	学習のねらいおよび到達目標
体づくり運動 集団行動 陸上競技 スポーツテスト ハンドボール バレーボール 武 道 体づくり運動 バレーボール ハンドボール 武 道 ダンス（創作ダンス発表会） 器械運動 体づくり運動 バスケットボール 武 道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動の楽しさや心地よさを味わうことによって身のこなしや心身の調子を整え、健康に関連する体力の向上を図る。 ・ 集団の約束やきまりを守って機敏・的確に行動する。 ・ 自己の能力に応じて各種目の基本技術を身につけて競技し、テストの記録の向上を図る。 ・ 集団的技能を理解・習得しゲームに生かして楽しむことができる。 ・ チームにおける自己の役割を自覚して協力し、他人を尊重して練習やゲームができる。 ・ 守りから三段攻撃を理解・習得しゲームを楽しむことができる。 ・ チームにおける自己の役割を自覚して協力し、他人を尊重して練習やゲームができる。 ・ 対人的技能を高め、得意技を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを意図的に扱い、練習やゲームを工夫できる。 ・ 三段攻撃を使ったゲームができるようにチームで取り組むことができる。 ・ チームの特色づくりと攻防のフォーメーションができるようにする。 ・ 得意技を使い試合を展開することができる。 ・ 表現したい内容や動きを変化発展させ仲間と協力しテーマにふさわしい作品づくりを工夫することができる。 ・ いろいろな種目で自己の体の操作を意識的に行い、美しく仕上げる意識を身につけることができる。 ・ 基本技術を習得し簡易ルールによってゲームができ、2対2・3対3などのコンビネーションプレーに生かすことができる。 ・ 対人的技能を高め、得意技を身につける。

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に運動する習慣を養い、心身の健全な発達を促進させることができたか。 ・ 活動を通して、公正な態度及び相互協力の精神を養うことができたか。 ・ 技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めることができたか。 <p>実施種目のスキルテストを実施する。 授業への関心や活動に対する参加意欲・態度、グループ内での相互協力を総合的に評価する。</p>
-----------------	---

4 学習のアドバイス

<p>元気に活動することが一番です。生涯を通じて運動に親しむことができるとともに、運動の仕方はもちろんのこと、周りの状況を判断し迅速で的確な行動とれるようになりましょう。また、仲間とのかかわり方にも配慮できることも大切です。積極的に取り組みましょう。</p>

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
保健 体育	体育	普通科・ビジネス科 生活福祉科 農業科学科・海洋科学科	3	2	なし	なし

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	自己の体力に応じて自主的に運動をする習慣を養い、心身の健全な発達を促進させるとともに、公正な態度及び相互協力の精神を養う。 合理的な活動によって技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めさせる。
---------------------	---

2 学習計画

学 習 内 容 単 元 ・ 学 習 項 目	学習のねらいおよび到達目標
体づくり運動 集団行動 陸上競技 (スポーツテスト) ダンス (体育大会) 選択制① ハンドボール バレーボール ソフトボール サッカー ソフトテニス 陸上競技 器械運動 (球技大会) 体づくり運動 選択制① 選択制② バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球 陸上競技 器械運動、ダンス 体づくり運動 選択制②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動の楽しさや心地よさを味わうことによって身のこなしや心身の調子を整え、健康に関連する体力の向上を図る。 ・ 集団の約束やきまりを守って機敏・的確に行動する。 ・ 自己の能力に応じて各種目の基本技術を身につけ競技したり、記録を高めたりすることができる。 ・ フォークダンスの踊る楽しさや喜びを味わうと共に、協力して練習できる。 ・ 学習目標を設定し、仲間と協力して活動を進めることができる。 ・ グループノートを活用し、学習活動を相互評価できる。 ・ 新たな課題に対して活動内容を見直すことができる。 ・ 選択種目の運動の特性と自己やグループの能力に合わせた活動を工夫できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標を設定し、仲間と協力して活動を進めることができる。 ・ グループノートを活用し、学習活動を相互評価できる新たな課題に対して活動内容を見直すことができる。選択種目の運動の特性と自己やグループの能力に合わせた活動を工夫できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標を設定し、仲間と協力して活動を進めることができる。 ・ グループノートを活用し、学習活動を相互評価できる。 ・ 新たな課題に対して活動内容を見直すことができる。 ・ 選択種目の運動の特性と自己やグループの能力に合わせた活動を工夫できる。

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に運動する習慣を養い、心身の健全な発達を促進させることができたか。 ・ 活動を通して、公正な態度及び相互協力の精神を養うことができたか。 ・ 技能を高め、生活における運動の意義について理解を深めることができたか。 実施種目のスキルテストを実施する。 授業への関心や活動に対する参加意欲・態度、グループ内での相互協力を総合的に評価する。
-----------------	---

4 学習のアドバイス

<p>生涯を通じて運動に親しむことができるとともに、運動の仕方はもちろんのこと、周りの状況を判断し自ら進んで的確な行動がとれるようになりましょう。</p> <p>また、仲間とのかかわり方にも配慮できることも大切です。</p> <p>積極的に取り組みましょう。</p>

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
保健体育	保健	普通科 農業科学科 海洋科学科 ビジネス科 生活福祉科	1 学年	1 単位	現代高等保健体育 (大修館)	現代高等保健体育ノート (大修館)

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
---------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付けようとしている。
理解度テスト 定期考査など	定期考査 ワークシート内容 など	授業態度 個人評価及びグループ内相互評価 など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4	1 単元 現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 健康を成り立たせている要因について理解している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 わが国の健康水準の変化とその背景や、現在の健康問題について理解している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
5	生活習慣病の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の種類と要因について説明できる。 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○

	がんの原因と予防	<ul style="list-style-type: none"> がんの種類や原因について理解し、一次予防と二次予防について理解している。 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	○		
	がんの治療と回復	<ul style="list-style-type: none"> がんのおもな治療法や緩和ケアについて理解している。 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 がんとその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○		○
6	運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康と運動の関係について理解している。 目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
	食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 食事と健康の関係について理解している。 健康的な食事のとり方について説明できる。 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
	休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について理解している。 健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる。 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
7	喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解している。 喫煙の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
9	飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を理解している。 飲酒の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 飲酒について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
	薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解している。 薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
10	精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 精神疾患の特徴について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 	○	○	
	精神疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患を予防する方法や精神疾患の早期発見のために必要なことを理解している。 精神疾患の予防について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 	○	○	
	精神疾患からの回復	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か理解している。 精神疾患の回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○

11	<p>現代の感染症</p> <p>感染症の予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて理解している。 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。また、感染症への個人と社会の対策について理解している。 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について理解している。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげて説明することができる。 ・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
12	<p>健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>健康に関する環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
1	<p>2 単元</p> <p>安全な社会生活</p> <p>事故の現状と発生要因</p> <p>安全な社会の形成</p> <p>交通における安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○

2	<p>応急手当の意義とその基本</p> <p>日常的な応急手当</p> <p>心肺蘇生法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
---	--	---	---	---	---

教科	科目	対象学科	対象学年	単位数	使用教科書	副教材等
保健 体育	保健	普通科・農業科学科 海洋科学科・ビジネス科 ・生活福祉科	2	1	現代高等保健 体育(大修館)	現代高等保健 ノート

1 学習の到達目標等

科目の概要 及び 到達目標	身体的、精神的、社会的な健康について理解を深めるとともに健全な生活態度や公衆衛生についての関心を高める態度を養う。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
---------------------	--

2 学習計画

学 習 内 容		学習のねらいおよび到達目標
単 元	学習項目	
生涯を通じる健康	1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の発達、行動面、心理面の特徴が説明できる。 ・性意識の男女差を性的欲求のあらわれ方の違いを例にして説明できる。 ・健康的な結婚生活をいとなむための留意点を心身の発達の観点から説明できる。 ・受精、妊娠、出産の過程が説明でき、本人と周囲の人々の留意点が説明できる。 ・健康上からみた家族計画の意義について理解し避妊方法を選択する留意点を男女それぞれの立場からあげられるようになる。 ・人工妊娠中絶の条件、及び女性の心身におよぼす影響について理解する。 ・加齢にともなう心身の変化について理解し、中高年期を健やかに過ごすための留意点を具体的にあげることができる。 ・高齢者の生活と健康に関する現状とそれをふまえた健康課題について説明できる。 ・保健行政の役割やしきみについて説明できる。保健サービスの内容とその活用法について説明できる。 ・わが国における医療保険の仕組みを説明できる。 ・受診場面を想定して、医療機関及び医師から必要な情報をひきだすための質問事項をあげることができる。 ・大気汚染の健康への影響を説明できる。 ・水質汚濁の健康への影響を説明できる。 ・土壌汚染の健康への影響を説明できる。 ・環境汚染の防止・改善への対策をあげて説明できる。 ・ごみ、し尿や上下水道の整備について問題点と対策を具体的にあげることができる。 ・食品の衛生管理のために行政及び製造・生産者が行っている対策例をあげることができる。 ・食品と環境の安全のために私たちができる対策例があげることができる。 ・働くことと健康が相互に影響することの例をあげることができる。 ・労働災害の防止対策として、職場と個人が行うことを理解し、職場における健康管理の必要性を説明できる。 ・職場の健康対策について説明でき、日常生活での健康増進について考えることができる。
社会生活と健康	6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的とりくみ 8. 保健制度と保健サービスの活用 9. 医療制度と医療費 10. 医療機関と医療サービスの活用	
	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁と健康 3. 土壌汚染と健康 4. 健康被害の防止と環境対策 5. 環境衛生活動のしくみと働き 6. 食品衛生活動のしくみと働き 7. 食品と環境の保健と私たち 8. 働くことと健康 9. 労働災害・職業病と健康 10. 健康的な職業生活	

3 評価方法

評価の観点・ 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的、精神的、社会的な健康について理解を深めることができたか。 ・健全な生活態度や公衆衛生について関心を高めることができたか。 定期考査、実践テストの成績と、授業中の意欲、態度、ノート点検など総合して評価する。
-----------------	--

4 学習のアドバイス

人間にとって健康は一番大切なものです。現代では自分の毎日の生活習慣が健康を作ります。自分でしっかり考えて生活できるように心・体について知識を持ちましょう。